

青山シンフォニーオーケストラ

〜 第26回 定期演奏会 〜

【指揮】

汐澤 安彦

【日時】

2013年 **4月28日**(日) 14:00開演 (13:00開場)

【会場】

東京芸術劇場 コンサートホール(大ホール)

【曲目】

歌劇 ^{ロッシーニ} **どろぼうかささぎ** 序曲

^{ドビュッシー} **夜** 小組曲

^{ベルリオーズ} **幻想** 交響曲

■チケット S/2,000円 A/1,500円 B/1,000円

■チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 187-341)

■お問合わせ 045-713-3478(石田)

■ホームページ <http://www.aoyama-symphony.com/>

曲のご紹介

ロッシーニ／歌劇「どろぼうかささぎ」序曲

1817年に作曲されたこの歌劇は、ロッシーニの21作目のオペラで、イタリアのミラノ・スカラ座にて初演されました。貴族の跡取り息子と恋仲にある召使の娘が、彼女に横恋慕をした悪代官によって食器泥棒の疑いを掛けられ死刑を宣告されてしまいます。が、犯人は「かささぎ」と判明し、最後は恋人と結ばれるというハッピーエンドの話です。この時代はナポレオン戦争に振り回された直後でしたので、世間の人達はハッピーエンドのこの話の展開に幸せな気分で家路に着いたそうです。尚、この曲は「ぬすむかささぎ」とも言われます。

ドビュッシー／小組曲

1888年から1889年に掛けてピアノの連弾曲として作曲され、その後、友人のアンリ・ビュッセルによって管弦楽用に編曲されました。この編曲で多くの人達に知れ渡ることになりました。曲は「小舟にて」「行列」「メヌエット」「バレエ」の4曲から構成され、マスネ、グリーグなどを思わせるロマンチックな旋律とその陰影は、「印象主義」独特の曖昧な雰囲気をも漂わせ、かつ各楽章ともに平易で理解しやすい作風となっています。

ベルリオーズ／幻想交響曲

標題には「幻想交響曲－ある芸術家の生涯における一挿話」とあり、1831年、ベルリオーズ28歳の時の作品です。シェイクスピア作品を演じる大女優に一目惚れして一方的に失恋をしましたが、この時の感情をもとに大変風変わりな異色のシンフォニーを書き上げました。5楽章から成る構成は、①「夢想、情熱」②「舞踏会」③「田園の風景」④「断頭台への行進」⑤「サバト(魔女)の夜の夢」です。夢の中で恋人に会う不安や喜びから始まり、苦悩・希望・不吉の感情が楽章を追うごとに狂気に満ちていきます。ベルリオーズの女性に対する激しい気持ちが音符となり、まさに乱舞しているかの様です。

青山シンフォニーオーケストラ

当団は約70名の団員で構成され、年1回・春に開催する定期演奏会活動がメインのアマチュアオーケストラ団体です。26年前に創立され、当初は青山学院管弦楽団のOB・OGにより「青山学院管弦楽団OBオーケストラ」の名称で活動をしていました。この名称を1993年に「青山シンフォニーオーケストラ」と改名し、市民オーケストラとして幅広い団員構成でクラシック音楽の追及に励んでいます。1988年開催の第1回定期演奏会より汐澤安彦先生に指導と指揮を頂き、現在に至っています。

創立25周年記念演奏会 第25回定期演奏会

平成24年4月22日(日)、日比谷公会堂で第25回定期演奏会を開催しました。指揮は汐澤安彦先生、曲はショスタコーヴィチ「祝典序曲」、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」、ブラームス「交響曲第1番」です。ピアノ協奏曲は新進気鋭の金子三勇士氏によって演奏されました。



指揮者 汐澤 安彦 [プロフィール]

東京芸術大学器楽科卒業、同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子 登の各氏に師事。当初、バストロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)第2位。1975年、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーに学ぶ。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。これまで、東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として永くその任にあった。1999年、日本吹奏楽学会／第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞。東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。青山シンフォニーオーケストラ常任指揮者。